



家事や育児に専念する女性の活躍（平成27年12月一般質問）

次に、**家事や育児に専念する女性の活躍促進について**お伺いいたします。

働きながら子育てをされている女性がおられる一方、**出産後は家事・育児に専念したいと思っている女性**も多数いらっしゃいます。私が育児をしていた時代には、専業主婦はごく当たり前の存在でしたが、最近では働かれる方が増えたことで「それが当たり前であり、逆に、専業主婦は夫の収入で楽をしている」と考えられる方も一部いらっしゃるようです。

このように、昨今、輝く女性といえ、外で働く女性の方に目が向いているようですが、**専業主婦も含めたさまざまな選択ができる社会**でなくてはなりません。

この専業主婦の方の中には、**地域や家庭、また青少年健全育成活動などでも大きな力を発揮しておられる、社会にとって大変重要な人材**であられる方々も多数いらっしゃいます。

私はこうした方々の活動も、女性の活躍の一つであり、高齢化が進んだ地域などでは、「**若い力**」として**大変期待**もされているのではないかと思います。

しかしながら、私は、専業主婦の減少により、こうした方々が中心となって支えてこられたこれまでの地域活動などが衰退していくのでは、と懸念も感じています。

平成23年の総務省の「社会生活基本調査」によると、**ボランティア活動に従事した経験のある人**は、男性の1,361万人に対し、女性は1,634万人と**女性の方が多く**、また、この**女性の半数以上は、専業主婦など、主に家事を担っている方**とのデータもあります。

本県でも女性を中心とした団体やグループが、女性ならではの視点から様々な分野において地域活動を展開しておられます。例えば、子育てを経験した女性による育児ボランティアの取り組みなどは育児の負担感や孤立に悩む母親の支えになっています。

こうした地域活動は、就労していないからこそできるわけであり、専業主婦を中心に活動の輪を広げていくことも、女性の活躍の観点から重要なことではないかと考えます。

そこでお尋ねいたします。

家事や育児に専念する女性の活躍の促進に向け、県として今後どのように取り組んでいけるのか、ご所見をお伺いします。

<秋貞憲治環境生活部長 答弁>

女性の活躍推進に関するお尋ねのうち、家事や育児に専念されている女性の活躍の促進についてお答えいたします。

人口減少や高齢化、共働き世帯が増加する中、いわゆる専業主婦の方には、地域福祉の担い手として、また、地域活性化のリーダーなど、地域を支える重要な役割を果たしている方が多くおられます。

また、国においては、女性の自治会長やPTA会長など、地域組織への女性の参画を進めており、専業主婦の参画が期待されているところであります。

県としても、こうした女性の方々の活動を促進し、その輪を広げていくことは、地域の活力を維持・発展させていく上で重要と考えており、今年度、地域の課題解決や地域の活性化を担う人材の育成を目的として、女性団体や子育て団体等のリーダーを対象とした研修を実施しました。

また、地域において新たな活動が展開できるよう、ボランティア活動に意欲のある方に、ボランティアの募集情報を提供する「やまぐち社会貢献活動支援ネット」も、本年11月に開設したところです。

県としては、今後とも、こうした取組を通じて専業主婦の方々の活躍とネットワークづくりを支援することにより、地域における女性の活躍促進に努めてまいります。